# 第３講
# ローマ帝国とイスラーム以前のインド史

## 〔１〕ローマ帝国

### A.元首政〔プリンキパトゥス．前27 ～後284〕

**アウグストゥス**

・**オクタヴィアヌス**

　・元老院より**アウグストゥス**（**尊厳者**）の称号を受ける（前27）

　・**プリンケプス**（第１の市民）を自称し，共和政を尊重（元老院と共同統治）した帝政

　・ゲルマンとの戦い（後９．トイトブルクの戦い）に敗れ，ゲルマニア経営を断念

**パクス＝ロマーナ**（**ローマの平和**）

・**五賢帝時代**（96 ～ 180）

　・**ネルヴァ**

　・**トラヤヌス**…**最大版図**

　・**ハドリアヌス**…長城建設（ブリタニア）

　・**アントニヌス＝ピウス**

　・**マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス**

　　・哲人皇帝（ストア派）

　　・**大秦王安敦**（『後漢書』）…後漢へ使者を派遣（166）・日南へ

・貿易…季節風貿易

　・サータヴァーハナ朝などとの交易…『エリュトゥラー海案内記』

「３世紀の危機」

カラカラ帝

・アントニヌス勅令（212）…カラカラ帝が全属州自由民に対して**ローマ市民権**を付与

・**軍人皇帝時代**（235 ～ 284）

### B.専制君主制〔ドミナトゥス．後284 ～ 476〕

**ディオクレティアヌス**（位284 ～ 305）

・**専制君主政**（皇帝崇拝を強要）

・**四帝分治制**…帝国を東西分割

・キリスト教徒大迫害

**コンスタンティヌス**

・**ミラノ勅令**（313）…**キリスト教の公認**

・**ニケーア公会議**（325）…教義の統一…アタナシウス派を正統とする

・**コンスタンティノープル**（ビザンティウムを改称）への遷都（330）

・コロヌス土地緊縛令（332．自由な小作人の移動禁止）



Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

**ゲルマン民族の大移動**（375）

**テオドシウス**

・**キリスト教の国教化**（392）…他の宗教・宗派を厳禁

・**帝国の東西分裂**（395）

・**西ローマ帝国**（395 ～ 476）…**オドアケル**（ゲルマンの傭兵隊長）に滅ぶ

・**東ローマ帝国**（395 ～ 1453）…オスマン帝国（**メフメト２世**）に滅ぶ

**〔２〕原始キリスト教史**

**イエス**の時代

・**“神の絶対愛”“隣人愛”**を説く

・**パリサイ派**の**律法主義**（ユダヤ教）を批判

・イエスの処刑

・ユダヤ総督**ピラト**　イエスは**キリスト**（救世主）として**復活**　**キリスト教**成立

**使徒**（12使徒）による伝道

・**ペテロ**（初代ローマ教皇）

・**パウロ**…異邦人への伝道

『**新約聖書**』の成立（１Ｃ半～２Ｃ半）…コイネー（ギリシア語）

・**福音書**（イエスの言行の記録）・**使徒行伝**（初代使徒の活動）など

キリスト教徒（**皇帝崇拝を拒否**）に対する迫害・発展

・**ネロ**…**ペテロ・パウロ**の殉教（64）

・**ディオクレティアヌス**による大迫害

・**ユリアヌス**（“背教者”）…ミトラ教の復活を図り迫害

・**カタコンベ**（地下礼拝所）

**ミラノ勅令**（313）…キリスト教の公認（コンスタンティヌス帝）

**キリスト教の国教化**（392）…異教・異宗派の厳禁（テオドシウス帝）

教義の統一（キリスト論）

**ニケーア公会議**（325．コンスタンティヌス帝）

・正統：**アタナシウス派（三位一体説）**…異端：**アリウス派**

**エフェソス公会議**（431）…異端：**ネストリウス派**

**カルケドン公会議**（451）…**単性論**派を異端

**教父**（“最大の教父”アウグスティヌス『神の国』）

**〔３〕インド古典文明の形成**

①**インダス文明　青銅器文明**

・**モエンジョ＝ダーロ**（シンド地方）・**ハラッパー**（パンジャーブ地方）

**インダス文字**（象形文字．未解読）

②ヴェーダ時代〔前1500頃～前500頃〕

**アーリア人**＜印＝欧系＞の侵入・定着（前1500）

中央アジア　→　**カイバル峠**　→　**パンジャーブ地方**に定住



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

**バラモン教**成立

『**リグ＝ヴェーダ**』（前1200．神々への賛歌集）

**ヴァルナ制**（“色”）

・バラモン（僧侶）　　　　　　　・クシャトリヤ（王候・武士階級）

・ヴァイシャ（一般民衆．納税義務）　・シュードラ（奴隷）

・**マガダ国・コーサラ国の強勢化**（ガンジス川中流域）

ａ．**ウパニシャッド**…「**梵**（ブラフマン）**我**（アートマン）**一如**」を説く…**輪廻転生**からの解脱

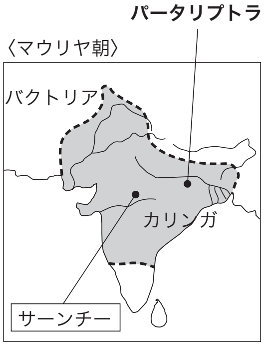
ｂ．**仏教**（開祖**ガウタマ＝シッダールタ**（クシャトリヤ出身））…クシャトリヤの支持

ｃ．**ジャイナ教**（開祖**ヴァルダマーナ**（クシャトリヤ出身））…ヴァイシャの支持

二大叙事詩の原形成立…『**マハーバーラタ**』・『**ラーマーヤナ**』

**〔４〕古代インドの統一王朝の変遷**

**A.マウリヤ朝**〔前４Ｃ～前２Ｃ〕 都 **パータリプトラ**




**チャンドラグプタ**

・西北インド（インダス川流域）よりギリシア人勢力（セレウコス朝）を一掃

**アショーカ王**

・**ダルマ（法）**に基づく政治…**磨崖碑・石柱碑**に刻む

**上座部仏教（小乗仏教）**の保護

・第３回**仏典結集**（パーリ語）　・**ストゥーパ**（仏塔）をサーンチーに建立

・**セイロン布教**

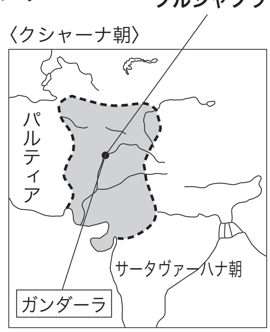
**B- １.サータヴァーハナ**朝〔前１Ｃ～後３Ｃ〕

南インド（デカン高原）の**ドラヴィダ系**王朝

『**マヌ法典**』の原形が成立

季節風貿易…ローマ帝国・東南アジアとの海上貿易（『**エリュトゥラー海案内記**』）

**B- ２.クシャーナ朝**〔１Ｃ～３Ｃ．イラン系クシャーナ族〕 都 **プルシャプラ**




**大月氏**から独立・建国（インダス川流域）

**カニシカ王**

「**大乗仏教**」の保護　第４回**仏典結集**（サンスクリット語）

**ナーガールジュナ**（竜樹．２Ｃ～３Ｃ）

「**大乗仏教**」教学を確立…**菩薩信仰**の下に全ての人間の救済を目指す

**ササン朝**の侵入・衰亡（３Ｃ）

**ガンダーラ美術**…ギリシア美術と大乗仏教の結合から初の仏像製造



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

**C.グプタ朝**〔４Ｃ～６Ｃ〕 都 **パータリプトラ**

**チャンドラグプタ１世**…建国・北インド統一

**チャンドラグプタ２世**（位４～５Ｃ．超日王）

・**サンスクリット文学**

・**カーリダーサ**（４Ｃ～５Ｃ．詩人・戯曲家）…『**シャクンタラー**』

・**法顕**（東晋僧）の来印（陸路→海路）…『**仏国記**』

衰亡…**エフタル**による西北インド侵入

文化

**ナーランダー僧院**の建設（５Ｃ）…仏教学院（玄奘・義浄が学ぶ）

**グプタ美術**（純インド的仏教美術）…**アジャンター**・エローラ石窟

**ヒンドゥー教**成立（仏教衰退後の中心的宗教）…バラモン教・仏教・

三大神…**シヴァ神**（破壊と創造の神）・**ヴィシュヌ神**・ブラフマー神

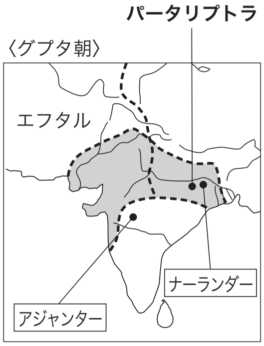
『**マヌ法典**』…各ヴァルナの義務と社会規範を定める

二大叙事詩の完成（サンスクリット文学）

『**マハーバーラタ**』

『**ラーマーヤナ**』

**ゼロの概念**




**D.ヴァルダナ朝**〔７Ｃ前半〕

・**ハルシャ＝ヴァルダナ**（戒日王）の建国・北インド統一

・**玄奘**（唐僧．三蔵法師）の来印（陸路）…『**大唐西域記**』



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

# 第３講　テスト

次の文章を一箇所だけ訂正し正しい内容の文にせよ。

1　①アウグストゥスは９年の②トイトブルクの戦いで③ケルト人に敗れ，以後④ライン・ドナウ川がローマ帝国との境界となった。

2　五賢帝の二人目①ハドリアヌス帝のとき帝国領土は最大となる。五人目の②マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス帝は③ストア派の哲人皇帝で『自省録』を④ギリシア語で著した。

3　①284年即位した②コンスタンティヌス帝は，帝国を４分し正帝と副帝を２人ずつ立てて統治させる四帝分治制（③テトラルキア）をしいて④政治的秩序を回復し，分裂の危機をとりあえず回避した。

4　イエスは祭司や①パリサイ派の形式主義を批判し，貧富の区別なく及ぼされる神の絶対愛と隣人愛を説き，神の国の到来と最後の審判を約束した。民衆はイエスを救世主（②メシア，③ラテン語で④キリスト）と信じて彼の教えに従うようになった。

5　ローマ皇帝コンスタンティヌスが開催した①325年のニケーアの公会議では，キリストを神と同一視し後に②三位一体説として根本教義が確立する③アタナシウス派が正統，キリストを人間とした④ネストリウス派が異端とされた。

6　カイバル峠を越えて西北インドに侵入しB.C.1000年過ぎに①インダス川流域に移動を開始したアーリア人は，その頃に②鉄器の農具の段階に入り定住農耕社会を形成しつつ「色」を意味する「③ヴァルナ」という身分制度を先住民との間に生じさせた。この移動期を④ヴェーダ時代という。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7　マウリヤ朝の最盛期を築いた①アショーカ王は征服活動の際多くの犠牲者を出したことから仏教に帰依し，②ダルマ（法，守るべき社会倫理）による統治を目指し石柱碑などに勅令を刻ませたが同王の死後，王朝は衰退，西北インドにギリシア人勢力，続いてイラン系遊牧民が侵入し，彼らの一派が③パータリプトラを都に④クシャーナ朝を建てた。

8　４世紀に成立したグプタ朝では①サンスクリット文学が隆盛したがその代表が②カーリダーサの作品『③マハーバーラタ』である。また，④ナーランダー僧院もつくられた。

9　ヴァルダナ朝を建てたのはハルシャ王であるが，同王が厚遇したのが『①大唐西域記』を著した②東晋の僧の③玄奘で彼は④陸路インドと中国を往復した。

解答

1　③→ゲルマン人　　2　①→トラヤヌス帝　　3　②→ディオクレティアヌス帝
4　③→ギリシア語　　5　④→アリウス派　　6　①→ガンジス川
7　③→プルシャプラ　　8　③→シャクンタラー　　9　②→唐



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。